

診療科名: 内科

申請者名:

レジメン名称: E-Ld療法(1cycle)

疾患名(癌種): 多発性骨髓腫 再発・難治

レジメン記入フォーマット

適用目的(対象): □術前補助化学療法 □術後補助化学療法 □進行再発 □一次 ■二次以降 □三次以降 □放射線併用 □その他()

フォーマットページ数(/)

通しNo	薬品名・規格	投与量	手技	点滴時間・速度	day(1)	...	day(8)	...	day(15)	...	day(21)	day(22)	day(23)
①	レナデックス錠4mg	28mg	経口投与	エムブリシティ投与3時間前	●		●		●		●		
②	レスタミンコーウ錠 10mg	50mg	経口投与	エムブリシティ投与前	●		●		●			●	
	カロナール錠 200mg	600mg											
③	レプラミドcap	25mg/日	経口投与	day 1~21 内服									
	腎機能により量調整			眠前									
1	生理食塩液 50mL	1P	点滴注射	30分かけて									
	デキサメタゾン 6.6mg	1V		エムブリシティ投与1時間前	●		●		●			●	
	ファモチジン注 20mg	1A											
2	生理食塩液 100mL	1P	点滴注射	1時間かけて	●		●		●			●	
				開始と同時に②内服									
3	生理食塩液	230mL	点滴注射										
	注射用水	(25mg/mL)	300mg VIは13mLで、400mg VIは17mLで溶解										
	エムブリシティ点滴静注用	10mg/kg		初回投与	●								
	フィルター使用			投与開始 0~30分:30mL/hr									
				投与開始 30~60分:60mL/hr									
				投与開始 60分以降:120mL/hr									
				2回目									
				投与開始 0~30分:180mL/hr	●								
				投与開始 30分以降:240mL/hr									
				3回目・4回目									
				300mL/hr									
				(速度は、別途医師指示あればそれに従う)									
4	生理食塩液 50mL	1P	点滴注射	流し用(30分かけて)	●		●		●			●	

上記表にて設定する抗がん剤について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
3	エムブリシティ	10mg/kg	
③	レプラミド	25mg/日	

・最初の2サイクルは28日毎に施行。

・3サイクル目よりエムブリシティは2週ごとに投与2回で1サイクルとする

JCO 2012 vol 30 No.16

・レナデックス錠やデキサメタゾン投与は、Infusion reactionの程度や

Phase I trial of anti-CS1 Monoclonal Antibody Elotuzumab in Combination

・他の副作用の程度に応じて調整可能

With Bortezomib in the Treatment of Relapsed/Refractory Multiple Myeloma

※この表にてオーダリングにレジメン登録しますので、漏れなく記入して下さい。

インターバル日数 (28) 日

レジメン基準日 day(1, 8, 15, 22)

総クール数 (1) クール

【投与基準】

好中球数 ≥1,000/ μ L血小板数 ≥7.5万/ μ L(3.0万/ μ L)

Hb ≥8.0g/dL

AST/ALT ≤3×UL(施設基準値上限)

レジメン登録コード 血内 97

レジメン審査部会承認 2018.11.15

【投与時間例】

内服①レナデックス錠を内服

(2時間経過してから)

注射1 生理食塩液 50mL (30分かけて) 主管

デキサメタゾン 6.6mg

ファモチジン20mg

同じ時間で
内服②レスタミンコーウ錠 10mg 5錠
カロナール錠 200mg 3錠

注射2 生理食塩液 100mL(1時間かけて) 主管

注射3 生理食塩液 230mL(投与速度は左記参照) 主管

注射用水

エムブリシティ点滴静注用

注射4 生理食塩液 50mL (30分かけて) 主管

診療科名: 内科
申請者名: 前田 宏一
レジメン名称: E-Ld療法(1~2cycle)
疾患名(癌種): 多発性骨髓腫 再発・難治

レジメン記入フォーマット

通しNo	薬品名・規格	投与量	手技	点滴時間・速度	day(1)	...	day(8)	...	day(15)	...	day(21)	day(22)	day(23)
①	レナデックス錠4mg	28mg	経口投与	エムブリシティ投与3時間前	●		●		●			●	
②	レスタミンコーウ錠 10mg	50mg	経口投与	エムブリシティ投与前	●			●		●			●
	カロナール錠 200mg	600mg											
③	レブラミドcap	25mg/日	経口投与	day 1~21 内服									
	腎機能により量調整			眠前									
1	生理食塩液 50mL	1P	点滴注射	30分かけて ムブリシティ投与時間前	●		●		●		●		
	デキサメタゾン 6.6mg	1V			●		●		●		●		
	ファモチジン 20mg	1A											
2	生理食塩液 100mL	1P	点滴注射	1時間かけて	●		●		●			●	
				開始と同時に②内服									
3	生理食塩液	230mL	点滴注射		●				●			●	
	注射用水	(25mg/mL)	300mg VIは13mLで、400mg VIは17mLで溶解										
	エムブリシティ点滴静注用	10mg/kg		初回投与									
	フィルター使用			投与開始 0~30分:30mL/hr									
				投与開始 30~60分:60mL/hr									
				投与開始 60分以降:120mL/hr									
				2~4回目									
				投与開始 0~30分:60mL/hr									
				投与開始 30分以降:120mL/hr									
				2サイクル以降									
				120mL/hr									
4	生理食塩液 50mL	1P	点滴注射	流し用(30分かけて)	●		●		●		●		

上記表にて設定する抗がん剤について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
5	エムブリシティ	10mg/kg	

・最初の2サイクルは28日毎に施行。

・3サイクル目よりエムブリシティは2週ごとに投与2回で1サイクルとする

・レナデックス錠やデキサメタゾン投与は、Infusion reactionの程度や

・他の副作用の程度に応じて調整可能

JCO 2012 vol 30 No.16

Phase I trial of anti-CS1 Monoclonal Antibody Elotuzumab in Combination

With Bortezomib in the Treatment of Relapsed/Refractory Multiple Myeloma

※この表にてオーダリングにレジメン登録しますので、漏れなく記入して下さい。

インターバル日数	(28)日
レジメン基準日	day(1, 8, 15, 22)
総クール数	()クール
【投与基準】	
好中球数	≥1,000/ μ L
血小板数	≥7.5万/ μ L(3.0万/ μ L)
Hb	≥8.0g/dL
AST/ALT	≤3×UL(施設基準値上限)

レジメン登録コード

レジメン審査部会承認日

【投与時間例】

内服①レナデックス錠を内服

(2時間経過してから)

注射1 生理食塩液 50mL (30分かけて) 主管

デキサメタゾン 6.6mg

ファモチジン 20mg

内服② レスタミンコーウ錠 10mg 5錠

カルナール錠 200mg 3錠

注射2 生理食塩液 100mL(1時間かけて) 主管

注射3 生理食塩液 230mL(投与速度は左記参照) 主管

注射用水

注射4 生理食塩液 50mL (30分かけて) 主管

同じ時間で

181115 訂正前